
須川 展也（サクソフォン）

Nobuya Sugawa, Saxophone

日本を代表するクラシカル・サクソフォン奏者の1人。

そのハイレベルな演奏と、唯一無二のレパートリーが国際的な支持を集めている。

国内外のオーケストラと多数共演。吉松隆、西村朗、本多俊之、ファジル・サイ、チック・コリア、坂本龍一（委嘱順）など、デビュー以来長年にわたり同時代の作曲家への作品委嘱を続けており、多くが楽譜出版され国際的に広まっている。

今までに35ヶ国以上で公演やマスタークラスを行う。

地域の公募型吹奏楽イベントの企画と演奏の高い評価も注目されている。

今までに数多くのCDをリリース。最新ソロは「バッハ・シークエンス」、トルヴェール・クワルテットは「Festa」。東京藝大卒。日本音楽コンクール、日本管打楽器コンクール最高位。89-2010年まで東京佼成ウインドオーケストラのコンサートマスター。07-2020年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者。東京藝大招聘教授、京都市立芸大客員教授。

2024年にデビュー40周年を迎えた。

オフィシャルサイト <https://nobuya-sugawa.com/>

トルヴェール・クワルテット

Trouvère Quartet

1987年に須川展也・彦坂眞一郎・新井靖志・田中靖人の4人で結成した、世界トップレベルのサクソフォン四重奏団。結成30周年を迎えた2017年、神保佳祐がメンバーに加わった。92年東京国際音楽コンクール第2位、第5回日本吹奏楽アカデミー賞「演奏部門」受賞。98年にはTV朝日「徹子の部屋」への出演を機にその存在を広く一般にも知られるようになる。2000年にはオランダでの日蘭国交修好400年記念演奏会に招かれ各地で絶賛を浴びた。

2001年発売のCD「マルセル・ミュールに捧ぐ」は、第56回文化庁芸術祭レコード部門で大賞という快挙を遂げた。

イマジンベストコレクション他から多数CDがリリースされている。

「個性と融合」をコンセプトに、コンサートではサクソフォンのためのクラシカルな作品から、トルヴェールならではのオリジナル編曲作品までを展開。結成間もない頃よりピアニストの小柳美奈子も参加し、ボーダレスな活動内容が幅広い層に圧倒的な支持を得続けている。その音楽性と驚異的なテクニックによる緊密なアンサンブルが、世界最高峰のサクソフォン・クワルテットとしての評価を揺るぎないものとしている。

（令和7年8月現在・転載禁止）